



NPT国連要請
行動県代表団

20代が参加者の過半数

結団式で署名達成の決意を固める

県原水協は11月21日午後、県民主会館で「署名経験交流・組織代表者会議、NPT要請行動参加岡山県代表団結団式」を行いました。

会議には平和委員会、新婦人、高教組、人権連、民医連、岡山医療生協、高梁原水協などの組織のほか、NPT再検討会議要請行動に参加を予定している33人のうち氏名が確定している24人中17人が参加しました。

中尾代表はあいさつで、NPTの歴史と2010年の再検討会議の重要性に触れ「被爆国の運動が成否のカギを握っている」と強調され代表団の奮闘を訴えました。

平井事務局長の経過報告の後経験交流では「生協組合員5万人を対象にした署名の追及、支部単位の署名の運動に(岡山医生活協)」、「日常的な細かい声掛けの重要性(新婦人)」、「自治体ぐるみの取り組みを追及中。市長の顔写真を入れた署名用紙を計画中。9条署名よりやりやすい(高梁)」、「目標の5万の50%を10月中にやった。各院所でアクションプランをたて社保闘争委員会が中心で奮闘中(民医連)」などの取り組みが報告されました。代表を先頭に目標の20万筆をなんとかとも達成しようと意思統一しました。名前が決まっている25人のうち20代が15人と若さ溢れるNPT要請行動岡山県代表団となっています。



医療生協の理事をしながら3・1ピキニ、広島、長崎の大会に参加。一人でも多くの人に署名をと、本屋、パーマ屋さんなどの協力で300筆を超えました。NPTに沢山持っていくために頑張ります。

参加者の決意 (敬称略)

原田禎子・ヒロシマの悲劇を皆に知らせたい(岡山市職労 図書館司書) 前田尚子・世界大会に初めて参加、衝撃でした。核兵器をなくすために頑張りたい(協プラ 薬剤師)

平井清浩・沖縄、広島行動に参加した。まず行動、そしてしっかり勉強したい(岡山市職労) 林潤・世界大会広島のときの田母神発言は許せない。政治の流れを変えたい(共産党岡山市議) 清須孝治・3年前広島から越してきた。医療生協で平和運動を頑張っています。(岡山医生活協)



和泉伸子さん(水島原水協)

笠岡ではこれまで4回の準備会を開き、署名を市民的規模で取り組もうと、市長、議長をはじめ商工会議所会頭、漁協組合長など市内の著名人31人から賛同をいただいた。何人かの呼びかけ人で1月9日に署名スタート集会を開き、市民の50%の署名をめざして一気にやる決意です。

坪井亮子・PPOで広島大会に参加。いま学習協で核問題を学習しています。青年と対話を広げ、楽しく運動したい。(PPO) 福田広史・3年前の世界大会以来原水禁運動に参加。頑張って取り組みたい。(水島・理学療法士) 下須賀香奈子・思い切って参加応募しました。(水島・看護師) 佐川麻衣子・4年前に大病、助かった命を平和のために(倉敷市職労) 光吉勝利・まだ充分理解できていませんが署名を頑張ります(津山医生活協・医療事務) 岡崎加奈子・NPTさえ知らなかった。しっかり勉強したい(高梁市職労) 塚原朋子・病棟のスタッフに後押しされて応募した。青年は平和が好きというが何をすればいいのかという声を聞く(水島・看護師) 谷桜子・入職1年目、看護と平和を頑張っています。(水島。看護師)



樋の津倫子さん(笠岡)

原爆写真展 倉敷市役所市民ホール 11/30-12/3(正午)まで

加百知津子・母は爆心地で被爆。奇跡的に助かりました。1988年のSSD以来3度目の国連要請に参加します。(市民生協職員)